

コンチェルトを弦楽五重奏とともに

田崎悦子 | ピアノ

モーツァルト

幻想曲 ハ短調 K.475

ベートーヴェン

ピアノ協奏曲 第1番 ハ長調 作品15

チャイコフスキー

ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 作品23

*ピアノ協奏曲=ピアノ+弦楽五重奏版

2026年 **1月18日** 日

14:00開演 (13:30開場)

東京文化会館 小ホール

(JR上野駅 公園口改札から徒歩1分)

■ チケット料金: 全席自由

一般5,000円 / 学生3,000円

城所素雅 | ヴァイオリン

佐々木綾 | ヴァイオリン

田中玲 | ヴィオラ

今泉晃一 | チェロ

森田麻友美 | コントラバス

*Etsko Tazaki (piano) & Friends in
Beethoven: Piano Concerto No. 1 &
Tchaikovsky: Piano Concerto No. 1
Mozart: Fantasy in C Minor, K.475*

■ 問合せ・マネジメント・チケット取扱い:

カメラータトウキョウ ☎03-5790-5560

www.camerata.co.jp

[電話での受付は平日10:00~18:00]

■ チケット取扱い:

東京文化会館チケットサービス

☎03-5685-0650 www.t-bunka.jp

イープラス eplus.jp (WEB/アプリ/Famiポート)

Joy of
Music
■ 主催: Joy of Music



世界からの批評

パッションとパワー、美しい音色、
人の心に浸透する音楽……。

—— ニューヨーク・タイムズ

この大曲(リスト:ピアノ・ソナタ)を
あらゆる観点から見据え、
そのゆるぎなき演奏は圧巻であった。

—— ロンドン・デイリー・テレグラム

これほど魂を揺さぶられる演奏は
そうあるものではない。
現在も常に進化し続ける田崎さんという
稀有のピアニストと同時代に
生きていることを心の底から誇りに思う。

—— 音楽評論家 真嶋雄大

Discography

●『3大作曲家の遺言シリーズ』全4枚セット(「レコード芸術」特選盤)

Vol.1: ブラームス Op.117/ベートーヴェン Op.109/シューベルト D.958

Vol.2: ブラームス Op.118/ベートーヴェン Op.110/シューベルト D.959

Vol.3: ブラームス Op.119/ベートーヴェン Op.111/シューベルト D.960

●ショパン ファンタジア(「レコード芸術」特選盤)

●ドビュッシー&リスト(「レコード芸術」特選盤)

以上、若林工房よりリリース

●バッハ: パルティータ 第4番&第6番、
モーツァルト: ファンタジー K.475(「レコード芸術」特選盤)

●シューベルト: ピアノ・ソナタ 第20番&即興曲D.935

●シューベルト: ピアノ・ソナタ 第21番&即興曲D.899

●シューマン: ダヴィッド同盟舞曲集&子供の情景/
フランク: 前奏曲、コラールとフーガ

●シューベルト: ピアノ・ソナタ 第19番&楽興の時

●リスト: ピアノ・ソナタ/シューマン: クライスレリアーナ

●バッハ: パルティータ 第6番他/
シューベルト: ピアノ・ソナタ 第17番(コンサート・ライブ)

以上、カメラータ・トウキョウより発売中

公式Webサイト

「ピアニスト田崎悦子の世界」 www.etsko.jp

Etsko Tazaki

ピアニスト田崎悦子の半生

20世紀の大指揮者ゲオルグ・ショルティに認められ、シカゴ交響楽団とバルトークのピアノ協奏曲No. 2で衝撃的なデビューを飾ったのは今や伝説となった田崎悦子。

1960年代に高校卒の少女が1人日本から国際的土俵の中心地ニューヨークに飛びピアニストとして研鑽を積み重ねた30年という歳月。様々な葛藤の中で、常に自分の手で自身の道を開拓しながらヨーロッパ、アメリカ全土、日本でソロやオーケストラと共演。世界的指揮者のサヴァリッシュとスイス・ロマンド交響楽団、スラットキンとセントルイス交響楽団、デブリストとロツテルダム・フィル、小澤征爾と新日本フィル他、世界の名だたる巨匠たちが名を連ねる。

アメリカ建国200年記念音楽祭では若きアメリカのホープとして選ばれ、ケネディーセンターでリサイタル、その折にはアメリカ人作曲家ジョージ・ロックバークの「パルティータ・ヴァリエーションズ」を世界初演する。

その他ルツェルン、マルボロ、アスペン、サイトウ・キネン、草津等の国際フェスティバルでも活躍。日本ではNHK交響楽団を始め多くのオーケストラと共演。2006年から3年がかりでバッハから21世紀までのピアノ史を横断する前代未聞の企画「田崎悦子ピアノ大全集」6回シリーズ、2015年には「3大作曲家の遺言」3回シリーズでベートーヴェン、ブラームス、シューベルトの最期の作品を演奏、そのゆるぎない音楽性とヴァイタリティーは音楽界の金字塔となり、NHK-BSプレミアムで複数回放送された。2018年は、19世紀の同世代、ショパン、シューマン、リストという愛と葛藤あふれる3人の作曲家に自身を重ね田崎悦子のみが語る人生の光と影を紡いだ2回シリーズを行う。

また、2021年春より半年に一度ずつ“Joy of Music”リサイタルシリーズを開催、“Joy of Bach” “Joy of Brahms” “Joy of Schubert” “Joy of Bartók” “Joy of Chopin”を経て2024年6月に“Joy of Debussy”で完結させた。

大胆でドラマティック、同時に心を震えさせる繊細さを聴衆に訴え続ける田崎の音楽は年々深さを増し、一度聞くとその魂は奪われてしまうかのよう。

現在、ハヶ岳山麓に居住。2002年ピアノ寄宿“Joy of Music”を立ち上げ自然の中で若い世代に真の音楽のあり方を教示し、2022年秋にオール・バルトーク・コンサートで設立20周年を祝う。

アメリカ・Washington University教授、桐朋学園大学特任教授他を歴任。

共演者



城所素雅
■ヴァイオリン

桐朋学園大学
卒、加藤知子
氏、堀正文氏
にヴァイオリ

ンを、田崎悦子氏に室内楽を学ぶ。
Joy of Musicシリーズで堤剛氏、
田崎悦子氏とトリオを共演。



佐々木綾
■ヴァイオリン

桐朋学園大学
で篠崎功子氏
にヴァイオリ

ンを、田崎悦子氏に室内楽を学ぶ。Joy of
Musicにおいて受講生の室内楽指
導を担当。



田中玲
■ヴァイオリン

15歳でヴァイ
オリンから
ヴィオラに転
向。桐朋学園

大学音楽学部卒業後、2025年8月
まで兵庫芸術文化センター管弦
楽団コアメンバーとして在籍。



今泉晃一
■チェロ

桐朋学園大学
音楽学部を経
て同大学院修
士課程修了。

草津夏期国際音楽アカデミーにて
故W. ベッチャーに師事。現在桐
朋学園大学嘱託演奏員。



森田麻友美
■コントラバス

桐朋学園大学
にて西田直文
氏に師事。在
学中、小澤征

爾音楽プロジェクトに参加。現在
日本フィルハーモニー交響楽団に
在籍。